

マンリオ・カデロ

在日外交団長・サンマリノ共和国駐日大使



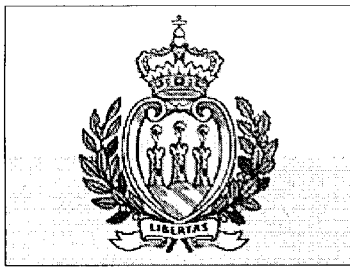
イタリア・シエナ生まれ。パリ・ソルボンヌ大学に留学し、フランス文学、諸外国語、語源学を修得。昭和50年（1975）、来日し東京に移住。イタリアの大手出版社と提携し、イタリアのメディア、情報サービス会社を設立。平成元年（1989）、在日サンマリノ共和国領事に任命され、平成14年（2002）、特命全権大使となる。聖アガタ騎士勲章を始め多くの勲章を受章。平成23年（2011）、在日外交団長に就任。東京国際大学特命教授。7か国語を操り、日本語も流暢に話す。著書に『コスモポリタンになろう』（三秀）など。
[写真] ブルーリボンバッジの上のバッジは、天皇陛下の御即位の大礼の折、陛下から賜ったもの。

世界最古の共和国から
世界最古の君主国の皆さんへ

サンマリノは建国1712年の最古の共和国、
日本は建国2673年の最古の君主国です。

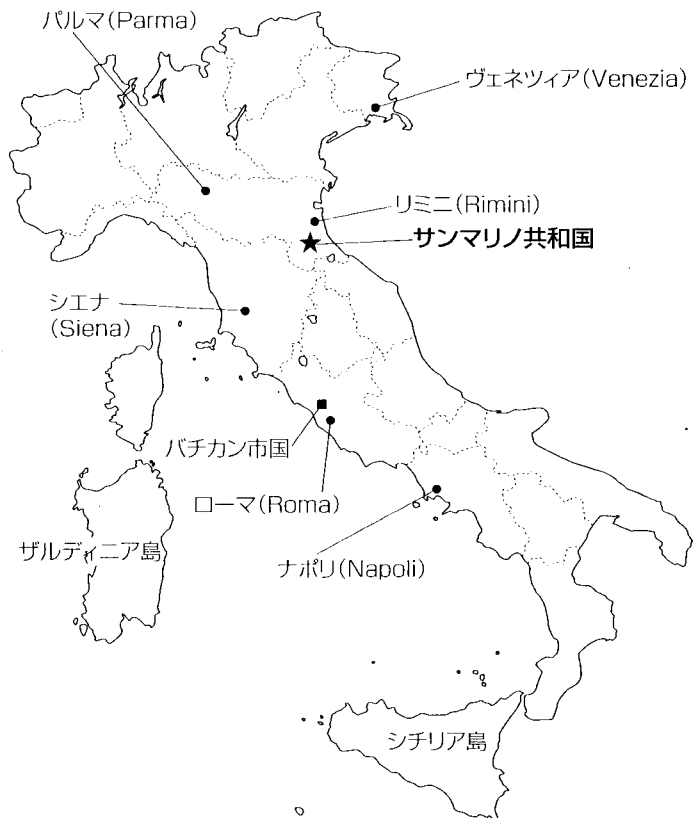
■サンマリノ共和国

イタリア半島の中
部、アドリア海に
面した町リミニ
から内陸へ24キ
ロメートルに位
置する世界で5
番



目に小さい国(面積61平方キロメートル、人口3万6千人)。西暦301年の建国以来今日まで独立を守ってきた世界最古の共和国。国土の大部分が丘と山で、中央に標高750メートルのティターノ山がそびえる。ティターノ山を天然の要塞として堅牢な城壁と中世の建造物が残る歴史地区があり、ティターノ山と歴史地区は世界遺産となっている。山頂の三つの塔の塔(グアイタ、チェスタ、モンタレ)はサンマリノの象徴である。半年交代の2名の執政を元首とするユニークな政体としても知られる。

[写真] 国旗は中心に国家の紋章が描かれている。紋章には山頂の三つの塔などが描かれ、「LIBERTAS」(リベルタス=自由)の文字が記されている。



イタリアとサンマリノ共和国の地図

マルタ島

イタリア半島にある世界で5番目に小さい国、サンマリノ共和国。日本をこよなく愛する駐日大使からのメッセージ
(本稿は本年2月11日、名古屋市で開催された「日本の建国を祝う愛知県民の集い」記念講演とインタビューを併せて、再構成したものです。)

✦世界最古の共和国・サンマリノ

本日は日本の建国おめでとうございませう。

東京には150を超える国、地域の大使が駐在していますが、私は一昨年の5月から、駐日大使全員を代表する外交団長を務めています。名誉なことですが、とても忙しくなりましたが、一所懸命やっています。

私は日本のことが大好きです。ジャーナリスト時代から教える通算で滞日30年以上になりますが、友達もいっぱいできました。大使としての任期が終わった後もずっと日本に住みたいと思っています。

まず始めに、私の国サンマリノについてご紹介したいと思います。サンマリノ共和国は、イタリア半島中部にあって、面積61平方キ

ロメートル、人口3万6千人の小さな国です。ちなみに東京都の世田谷区が約58平方キロメートルです。面積では世界200ヶ国のうち、サンマリノは5番目に小さい国です。サンマリノより小さい国は、ヴァチカン、モナコ、ナウル、ツバルです。

国は小さいですが、歴史は古く、建国は西暦301年、即ち今から1712年前です。敬虔なクリスチャンで石工だったマリノがローマ皇帝によるキリスト教迫害から逃れてティターノ山に登り、彼を慕う人々が集まって始まったとされています。建国の父マリノは死後、カトリック教会によって聖人に列せられ、聖マリノ、つまりサン・マリノとなりました。

標高750メートルのティターノ山の中腹から山頂にかけてが国の中心部で、山頂に首都サンマリノ市があります。中世からの建造

物が残る旧市街はティターノ山と共に世界遺産になっています。

こんな小さな国がどうして今日まで1712年も続いてきたか。

それはやはり、天然の要塞といつていい地理的条件が大きかったと思います。また、国民性が穏やかで結束が固かったということがいえると思います。国のはじめから

貴族などいませんから、ヨーロッパ各地のように貴族同士の争いなどというものもなかったし、お互いの摩擦が少なく仲が良かったのです。そして、決して野心など持ちませんでした。フランスのナポレオンがイタリアを南下する際に、腹心の部下をサンマリノに派遣し、「特別な贈り物(領土拡張、武器、穀物)をしたい」と持ちかけたときにも、その申し出を断わっています。

サンマリノには軍隊はありません。第二次世界大戦のときには中立国でしたが、イタリアからの難民10万人を受け入れています。当時1万3千人ほどの国民がその8倍もの人々のお世話をしたのです。このような国民性が周辺国から信頼されていることも独立の維持に

関係したのかもしれない。

穏やかな国民性は、日本でいえば沖縄の人たちに似ていますね。治安がいいので、家に鍵をかけなくても大丈夫です。ちなみに刑務所は一つだけありますが、服役者がほとんどいないため、刑務官は暇をかこっています。

女性の平均寿命世界一は日本ですが、男性の平均寿命世界一はサンマリノです。その理由は、おいしい食事とウォーキング、そしてストレスの少ないライフスタイルであるといえるかもしれません。

サンマリノ料理は典型的な地中海料理で、オリブオイルを使った魚、肉料理、食物繊維豊富な野菜、そしておいしいワインがあります。坂道が多いのでその上り下りなどでよく歩きます。また穏やかな国民性が余計なストレスを感じさせないのかもしれない。医療費が無料なので病院にも行きやすいというところもあるでしょう。

産業は観光が大きな割合を占めます。観光客は年間360万人、免税で消費税がありませんから、周辺各国から買い物にきます。一番売れているのはメイド・イン・

ジャパンです。日本の商品は高品質で長持ちだから信用できると評判がいい。つまり日本の商品が観光客の呼び水にもなっているのです。サンマリノの経済が成り立っているのは日本のお蔭でもあるのです。日本からの観光客も増えています。世界遺産の街だし、食べ物もおいしいし、治安が良いからでしょう。

中華料理店は2軒ありますが、日本料理店はまだありません。でも近いうちにできるのではないかと思います。なぜなら、年内に、神社が建つ予定だからです。

★サンマリノに神社を造営

そうです。今年、日本の神社本庁が正式に認めた神社がヨーロッパで初めて造営されます。今日はこのお話をぜひともしなければなりません。その経緯を説明する前に、まず私と日本、そして神社との関わりについてお話ししましょう。

日本との最初の「出会い」は、子供の頃、父親が持っていた日本についての本に触れたときです。

護國の大神に感謝の誠を捧げましょう



主祭典日
春季大祭日祭 四月三十日
同日 第二日祭 五月一日
英霊奉謝祭 八月十五日
秋季大祭日祭 十月二十三日

英霊顕彰館
学校では教えない
近現代の正しい歴史ここにあり
英霊の遺された勲功を展示

青葉城鎮座
宮城縣護國神社
980-0862 仙台市青葉区天守台
電話 022(223)7255
FAX 022(223)7269

イタリア語に翻訳された本でしたが、日本へのあこがれがそのとき芽生えました。そして掛け軸など日本に関するものを収集したりしていました。日本の文化に神秘的なものを感じて、いつか日本に行きたいと思っていました。また、パリのソルボンヌ大学に通っていた時、クラスメイトに日本人がいて、彼から日本のことをいろいろ聞きました。

初めて日本の土を踏んだのは、1964年の東京オリンピックのときです。そのときは短期間の滞



ティターノ山の山頂にあるチェスタの塔

在でしたが、1975年、ジャーナリストとして東京に来ました。アジアの各国にも行きましたが、日本が一番居心地がいいです。評論家の加瀬英明先生には日本でのお兄さんのように親しくさせていただき、現在に至るまでいろいろ教えていただいています。

日本に来て驚いたのは、月並みかもしれませんが、日本人は皆まじめによく働くことです。そのことが世界の信用を得ています。それは国の財産だと思っています。

そして「一番の印象は？」と聞かれたら、私は神社と答えるでしょう。

そう、私は神社が大好きです。クリスチャンの私ですが、神社に行く心が穏やかになって落ち着きます。これまで、九州・沖縄から東北まで約50社の神社を巡ってきました。伊勢神宮は勿論素晴らしいですが、私が一番好きなのは、山形県の出羽三山神社（*1）で、その次に好きなのは、京都の石清水八幡宮です。

出羽三山神社は神秘的で何かしら特別な雰囲気があります。そして、その名の通り、三つの山があ

る。サンマリノのティターノ山の頂上には、三つの突き出た断崖があつて、そこに立てられた塔がサンマリノの象徴となっています。だから三つの山がある出羽三山に魅かれるのかもしれない。

私はお寺も好きですが、やはり日本の本質は神社にあると思います。神社には日本の心が宿っています。日本は本当に美しい国です。その美しさは神社のお蔭でもあると思います。

神道は世界で最も古い宗教の一つです。神社に行くと神様が近いという感覚になります。日本の神様は、太陽も山も水もみんな神様です。つまり神道は、ネーチャー・ナチュラル・レリージョン、自然と共生するエコ宗教なのです。特定の教祖はおらず、誰にでも門戸を開いていてオープンです。数年前にローマ法王庁の駐日大使のカステッロ大司教をお誘いして伊勢神宮に参拝したことがあります。

（*1）出羽三山神社：月山、羽黒山、湯殿山の各山頂に月山神社、出羽神社、湯殿山神社があり、これらを総称して出羽三山神社という。

神武天皇を知らない日本人が多いのはとても残念なことです。立派な神話があり長い歴史がある国に生まれたことがいかに幸せなことか。

神宮は平和で静かで、清々しい自然を身近に感じることができ、まさに神々しいという感じで、カステッロ大使も感激されていました。

神社に参拝して、神道という宗教の素晴らしさに触れた私にとって、ヨーロッパに神社がほとんどないのは寂しかったのです。数は少ないけれども、アメリカやハワイ、南洋諸島など、世界の各地に神社はありますが、ヨーロッパにはほとんどありません。イタリアには1万2千人余の日本人が住んでいるのに、神社がないのはもったいない。ですからサンマリノに神社をつくろうと思ったのです。ヨーロッパ在住の日本人が神社にお参りしたくなったらサンマリノにどうぞと。

そして、数年前から神社本庁にご相談しながら、神社運営の計画を進めてきました。そして資金も調達して漸く今年、建てられる見通

しが立ったのです。年内の完成を目指して間もなく竣工の予定です。どうやって運営資金を集めたかそれは金貨の発行によつてです。

サンマリノは、切手やコインの発行で有名で、世界の収集家から注目を集めてきましたが、2007年に、世界最古の共和国サンマリノと世界最古の君主国日本との友好を記念して、日本の古く豊かな歴史、伝統、文化を称える趣旨の記念金貨を造りました。その売り上げを神社運営資金に充てる計画を立てたのです。話を聞きつけて多額の寄付を申し出てくださった篤志家の方もいたのですが、そこらはお断りしました。なぜなら、それではサンマリノ人が建てたことにならないからです。コインの売り上げだけで実現したかったのです。

金貨は2枚組で、それぞれ表には神武天皇と橿原神宮を、裏にはサンマリノ共和国の国章を刻印し

ています。全体で8千セットを発行する予定でしたが、結局5千セットが発行され、世界中で販売されました。イタリア造幣局で造りましたが、その鑄型は壊しました。つまり、もう二度とつくることのできない限定品です。お蔭様で売れ行きは順調で残りは150セットほどとなりました。

日本の出羽三山神社の御神体がサンマリノの神社の御神体となります。

また、神職はどうするのかという質問を受けるのですが、実は、神主さんになりたいというサンマリノ人が一人いて、日本で研修を受けた後、奉職する予定でいます。建材は日本で調達して船で運ん

で、日本の宮大工さんをサンマリノに呼んで現地を組み立てます。世界では日本について、富士山や着物や歌舞伎やサムライなどでイメージしていることが多いかもしれませんが、私に言わせれば、日本文化の中心は神社であり、神道なのです。世界の人々に神社の素晴らしさ、神道の素晴らしさ、そして日本文化の素晴らしさを知ってほしい。神社ができる

大理石研磨

- ◇自社開発の研磨機（特許取得）により施工
- ◇全7工程の工法により、光沢復元（光沢度数80~90 JIS規格）

床面・壁面・テーブル等も研磨致します

株式会社 新生装備

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 3-3-11
TEL 03-3261-0209 FAX 03-3261-0894
URL <http://www.shinseisobi.co.jp/>

1秒で悪臭を消し去る！植物の消臭力！！

●松・椿・カタバタより抽出した人間にも動物にも安全無害の100%純植物性消臭液。
●100倍~250倍に薄めて使うので非常に経済的。

こんな臭いでお悩みの方へ。

- ニンニク、生ゴミ、冷蔵庫、衣類の臭いに。
- 犬、猫、亀、ハムスターなどのペット臭に。
- 介護に、タバコ、カーテン、靴の臭いに。
- 豚、鶏、牛、魚などの臭いに。
- ホテル、病院、食堂、工場、ビルなどの中で。
- 自動車、タクシー、トラックなどの乗物の中で。
- トイレ、ゴミ処理場、し尿処理場などで。

まずは実感して下さい。

ニオイソソ
1,000円

●ご注文は電話・FAX・ハガキまたはメールで！**送料無料**
平日の16:00までのご注文はその日に発送致します。

株式会社フローラ
〒610-0856 三重県四日市市船出町3-39
www.HB-101.co.jp

お電話 **0120-86-1261**
FAX **059-345-4164**
メール **info@HB-101.co.jp**



日本サンマリノ友好記念チャリティ金貨
 2枚組で、表には、神武天皇と橿原神宮が、裏にはサンマリノの国章が描かれている。収益の一部は、日本赤十字社と全国盲人写真展へ寄付されている。お問合せは、日本会議愛知県本部 (TEL 052-763-4678, FAX 052-763-4588) まで

✧世界最古の君主国・日本
 — 神話は民族の財産だ

ことで、ヨーロッパに日本のイメージがより広がるものと期待しています。

広いヨーロッパのなかで、サンマリノに神社が建つというこの意義は深いと思います。先程も述べましたが、現存する国々のなかで、日本は最古の君主国、サンマリノは最古の共和国だからです。日本とサンマリノは世界一古い国同士なのです。そのことはギネス

古くは、たかだか建国2000年余の移民の国をあこがれるのか、理解に苦しみます。アメリカが建国される800年近くも前に、日本では世界最古の小説といわれる源氏物語が女性の手によって書かれています。

ブックにも載っています。もちろん、日本はサンマリノより古い。サンマリノは今年で建国1712年、日本は建国2673年です。しかも日本は、神武天皇の建国の前、はるか遠く神話の時代にまでつながっている国であって、このことは素晴らしいことです。

ところが、日本の若者に聞くと、神武天皇を知らない人が多い。自分の国のことよりも、アメリカについての方が詳しい。これはとても残念なことです。日本人がどうして建国2600年以上の世界一

古い自分の国のこととはあまり知らなくて、たかだか建国2000年余の移民の国をあこがれるのか、理解に苦しみます。アメリカが建国される800年近くも前に、日本では世界最古の小説といわれる源氏物語が女性の手によって書かれています。学校教育とマスメディアがおいしいのではないのでしょうか。まず教科書にちゃんと神武天皇のことを書いて教えなければ話になりません。

よ。なのに、ハワイには行っても沖繩には行ったことがないとか、あるいは、伊勢神宮や橿原神宮には行ったことがないのに、ディズニールランドには行きたがるなどというのはいかがかしていると思います。ハワイの海より沖繩の海の方が断然きれいですし、子供ならともかく大人の大人がディズニールランドに行つて何の勉強になりますか。いくら戦争に負けたとはいえ、いまの日本の「アメリカ化」傾向は度が過ぎていると私は残念でなりません。

快適で住みよい生活環境づくりをめざして…

株式会社 神岡衛生社
 ISO9001・ISO14001認証取得

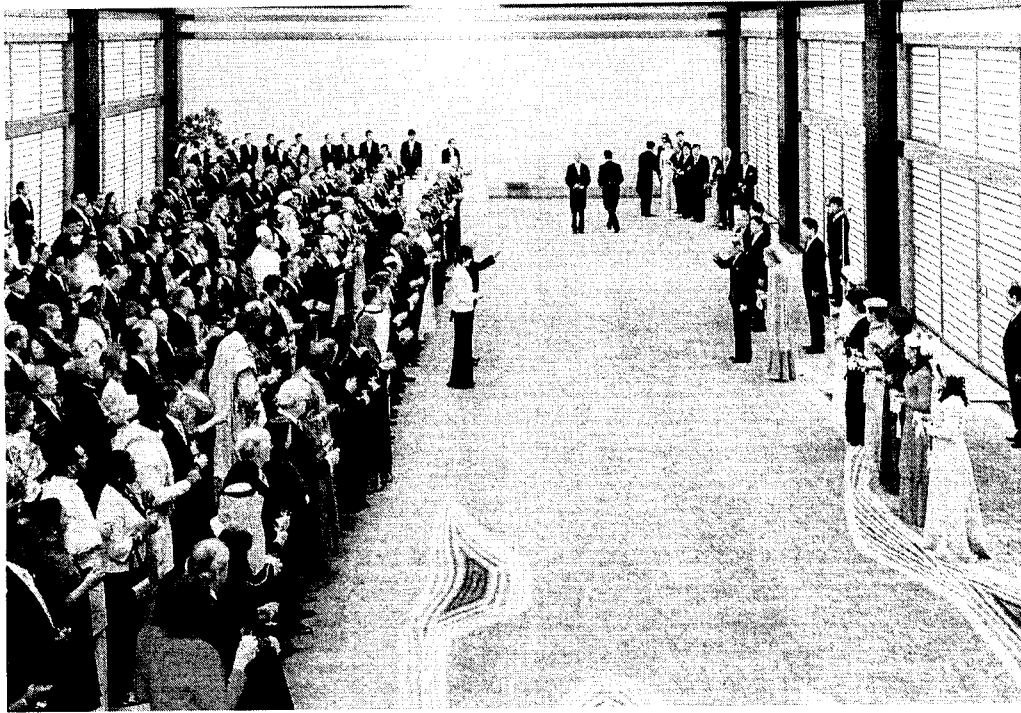
廃棄物収集・運搬、浄化槽維持管理、給排水・衛生設備工事、浄化槽施工・修理、ビルメンテナンス、環境計量証明、下水道処理施設維持管理、乾式清掃用具リース・販売

〒506-1147 岐阜県飛騨市神岡町東雲375番地
 TEL 0578-82-0337(代)
 URL <http://www.k-eisei.co.jp/>

**健康であればこそ
 世の中の役に立っています。**

世の中に氾濫する健康情報を、
 ちょっと違った角度から眺めてみませんか。
 ①健康情報誌(B5版44頁) 無料進呈中
 ②祝日に国旗が印刷されたカレンダー 無料進呈中

株式会社 オカヤマ 岡田恭一
 〒708-0324 岡山県苫田郡鏡野町竹田1110-1
 Tel. 0868-54-3161 Fax. 0868-54-4004
<http://www.horebore.cleans.jp/>



天皇誕生日で駐日外交団を代表して祝賀のご挨拶を述べるカデロ大使（中央奥、夫人と共に）

私は日本の歴史と文化を学ぶうちに、日本は21世紀の世界にとって規範となる国だと確信するようになりました。

神武天皇は実在しなかったなどという人がいますが、キリストだってその実在を100パーセント証明するのは困難です。でも信じられています。日本の天皇は、125代にわたって連続と続いてきています。その初代の天皇が存在しないはずはないではありませんか。

世界には神話もないし歴史も浅いという国がたくさんあるのに、立派な神話があり長い歴史がある国に生まれたことがいかに幸せなことか。いまの日本人にはもともと自分の足元を見つめてほしいと思います。

✦「和の心」を世界へ

日本神話と神道が日本人をつくってきました。そして、その中心には常に皇室があらわれました。

私は、駐日大使として、天皇皇后両陛下にお会いする機会をいただいていたのですが、外交団長になってからは、お呼ばれることがさらに多くなりました。例えば、一昨年のブータン国王、昨年のカエート首長、マレーシア国王が来日

なさったときの晩餐会では、150人もの駐日大使を全員呼ぶわけにはいきませんから、私一人が外交団を代表してお呼ばれするという具合にです。大変光栄なことでした。また、天皇誕生日のときには、各国の大使たちが居並ぶ前で、私が代表して陛下に祝賀を申し上げます。

そして、いずれのときでも、お目にかかるたびに感激します。陛下はおやさしい方です。深厚でいらして、物腰が柔らかく謙虚でいらつしやいます。新しく日本に赴任した大使は必ず天皇陛下に謁見しますが、緊張するので事前に私のところに相談しにやってくる人も多い。私は「陛下はおやさしいからリラックスしてください」などとアドバイスしたりしているので、謁見後は、皆さん、感激なさっています。

皇后陛下もおやさしい方です。両陛下はまさに最良の日本人でいらつしやいます。

今上陛下は第125代でいらつしやいますが、長い皇室の歴史のなかで、贅に耽つた方がおいでに

ならないのは、他国なら全く考えられないことです。

それは皇居に入っただけでも感じられます。

皇居では神社に参拝したときと同じ感覚がします。初めて宮殿に上がった時には、神社建築と同じだと思いました。他国の宮殿のような金銀の豪華な雰囲気はなく、シンプルでエレガントです。心が落ち着きます。都会の真ん中なのに空気が違います。緑深い皇居の奥の宮中二殿で陛下が神様にお祈りを捧げておられますから、清浄で神々しい空気に満ちているのかもしれません。

私は日本の歴史と文化を学ぶうちに、日本は21世紀の世界にとって規範となる国だと確信するようになりました。

東日本大震災のとき、日本人の規律、勇気を世界が賞賛したことはその現れです。世界中の人々が被災者の気高い振る舞いに感動し、大企業から小学生まで献金を惜しみませんでした。これは日本が世界中に、たくさんの友人を持っていて、それを示しました。日本はそれまで久しく世界中にその善意を

援助という形で表し続け、多くの良い影響を世界に与えてきました。そのことを人々は忘れていなかったのです。

巨大な天災に襲われた時は、どんな大国でも、たとえイギリスやフランスなどの先進国でさえ、略奪や暴動などの混乱が起こるものです。ところが、日本ではあの悲惨な状態のなかで、老若男女の被災者たちが謙譲の美德を発揮してお互い譲り合いました。これは世界からみれば正に奇跡のような光景でした。

2600年以上の日本民族の歴史が紡いできた日本の国柄、和の心の素晴らしさを世界は目の当たりにしたのです。

私は、今日、そしてこれからの世界が最も必要としているのは、この「和の心」だと思っています。

この和の心は、まさに日本神話の時代から続いているものです。

最高神である天照大御神は決して独裁ではなく、別の神にお伺いをたてたり、八百万の神々が話し合って物事を決めたりしています。他国の神話では、絶対権力をもった最高神が登場します。ある

いは、日本神話では天津神と国津神とは共存していますが、他の国々では自分が絶対で他を認めようとしません。例えばキリスト教がヨーロッパに入ったときは、ゲルマン民族の多神教などを滅ぼして吸収してしまいました。

日本では、仏教が入ってきて、神道と共存して、より重厚な文化が発展していきました。そして聖徳太子が「十七条の憲法」を制定されます。例えば第十条(*2)では、「自分だけが賢いと思つてはなりません」とあり、第十七条(*3)では、「大事なことは皆でよく相談して決めなさい」とあります。このように日本人は和を大

切にし、自己主張を抑制して譲り合う精神を今日に至るまで保ってきました。

これこそ、今日の世界に最も必要な精神ではないでしょうか。

私はいま中国語を習い始めていますが、日本にきた中国人と話すと、彼らは表向きは認めたがらないけれども、内心は日本に魅力を感じていることが分かります。またアジアの各国にも行きましたが、東南アジアは日本好きですし、ベトナムやラオス、カンボジアなど皆日本の援助に感謝しています。東南アジア諸国には義理と人情がある。だから日本と理解し合えます。一方、中国はもつと素直にな

(*2)「十七条の憲法」第十条「十に曰く、忿を絶ち瞋を棄て、人の違ふを怒らざれ。人皆心有り、心各執有り。彼是とするとときは則ち我は非とす。我是とするとときは則ち彼は非とす。我必ずしも聖にあらざ。彼必ずしも愚にあらざ。共に是れ凡夫のみ。是非の理なんぞよく定むべき。相共に賢愚なること環の端無きが如し。是を以て、彼の人瞋ると雖も、還つて我が失を恐れよ。我独り得たりと雖も、衆に従ひて同じく辱へ。」

(*3)第十七条(抜粋)「十七に曰く、それ事は独り断ずべからず。必ず衆とともに論ふべし。少事は是れ軽し。必ずしも衆とすべからず。ただ大事を論ふに逮びては、もしくは失あらむことを疑ふ。故に、衆とともに相弁すれば、辞すなわち理を得む。」

つたらしいと思いますね。

あの「反日デモ」は本当は日本に魅力を感じているのに、そのことを認めたくない中国人の潜在意識の裏返しのような気がします。中国の経済発展は日本のお蔭によるところが大きいのは事実です。

にもかかわらず、そのことへの感謝を忘れたかのような、あの常軌を逸した行動が世界中の懸念を買ったという事実を中国人はもったきちんと受け止めた方がいいと思います。もつとも、中国でも見識のある方々の中には後悔されている人々もいらっしやいます。

日本とサンマリノとの最初の接触は、16世紀の遣欧使節(*4)です。中浦ジュリアンや伊藤マンシヨらがサンマリノに入っています。

彼らは立派な「大使」役を果たしました。当時13、14歳の少年たちは、船の行きかえりのなかで必死に勉強していました。いまの日本の中学生たちにこの話をもっと知ってほしいと思います。あなたたちの先人たちは立派だったんだよ、彼らに恥じない日本人になりましょうと呼びかけたいです。そしていま私は、この遣欧使節につ

いて書かれた日本語の本を英語に翻訳する作業をしています。世界の人達にももつと日本のことを知ってほしいのです。

日本の素晴らしさを知る者の一人として、日本はまだまだ世界に知られていないし、誤解されていることが悔しいのです。日本の文化には世界に貢献する魅力がたくさんあるのです。

東日本大震災のときは、サンマリノからも義捐金を送りましたが、サンマリノの神社造営の話が少しでも被災地の人々の慰めになり、日本の若者が白国に誇りを持つきっかけになればと思います。

(*4)「天正遣欧使節」：天正10年(1582)、九州のキリシタン大名である大友宗麟、有馬晴信、大村純忠によって中浦ジュリアン、伊藤マンシヨ、千々石ミゲル、原マルチノの4人の少年がローマ法王のもとに派遣された。この使節団によってヨーロッパの人々に日本の存在が知られるようになり、彼らの持ち帰ったグーテンベルク印刷機によって日本語書の活版印刷が初めて行われた。

小学5年生から大使への手紙

※名古屋市の講演会当日、愛知県の小学生から大使へ「日本とサンマリノ共和国」と題した手紙が手渡されました。抜粋して紹介します。

塚音和真(つかなき かずま)

ぼくは以前、「大使の招待状」地球をめぐる」という番組を見て、日本とサンマリノ共和国について色々なことを知りました。最初に、すごいなと思ったことは、サンマリノ共和国は世界で一番古い共和国で、日本は世界で一番古い君主国だということでした。

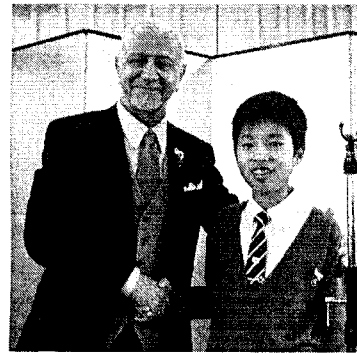
そして、日本とサンマリノ共和国には、いくつかの共通点があるな、と思いました。サンマリノ共和国は、山の上に三つお城があり、皆があつて地形的に外敵から守られてきました。

た。日本は、周りが海なので、海が砦となり、守られてきました。だから日本もサンマリノも長い歴史を持ち続けることができたのかな、と思いました。

ぼくは番組を見た後に、サンマリノ共和国について興味を持ちました。パソコンで調べたり、グーグルアースでサンマリノ共和国の街を散歩したりしました。大使がお話をされていた通り、とても景色がきれいで、石でできている建物が警備隊の制服ととても合っていて格好良いな、と思いました。

サンマリノ共和国の歴史が石工から始まっていることを知って、ぼくはびっくりしました。なぜかという、ぼくのお父さんは石工の仕事をしていて、四代前の明治時代から石工の仕事をしているからです。ぼくとサンマリノの共通点がある気がしてとてもうれしいです。

今日、二月十一日は日本の「建国記念日」です。神武天皇が即位された日を、日本が建国された日として祝う、という意味だと知りました。今日、この日に大使とお会いすることができて、ぼくはとてもうれしいです。大人になったらサンマリノ共和国に行きたいと思っています。》



“ちびっこ大使”(和真君、右)からの贈り物に笑み満面の大使